

キリバの会計

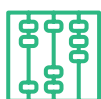
KYRIBA FACT SHEET

リース会計基準の適用が迫られる中、財務経理部門はIFRS16やASC842等のグローバルの会計基準および国内の会計基準の双方に準拠するため、リース取引の特定、追跡、会計処理、および監査に伴う大量の手作業に直面しています。

キリバはリース会計基準を遵守する企業を支援します。一元管理型クラウドポータルを通じて、リース関連のレポートの集約、新基準に準拠したリース取引の分類、リース資産の内訳明細の計算、および仕訳生成を行います。

キリバのリース会計モジュールは、資金・流動性管理、支払、リスク管理、運転資金等のソリューションと併用することも、クラウド上の単独ソリューションとして実装することも可能です。

リース会計基準 IFRS16 と ASC842は、
2019年1月1日に発効されました



リース会計モジュールの主な機能:

リース取引の把握

- ・リース取引のインポート
- ・Excel からのコピーアンドペースト
- ・文書添付
- ・オペレーティングリース、ファイナンスリースの分類

リース取引の管理

- ・ユーザー指定の支払金利によるリース金額の計算
- ・支払スケジュールのカスタマイズ
- ・リース取引の詳細レポート
- ・リース取引の早期終了、延長、返却 / 更新 / 購入の把握

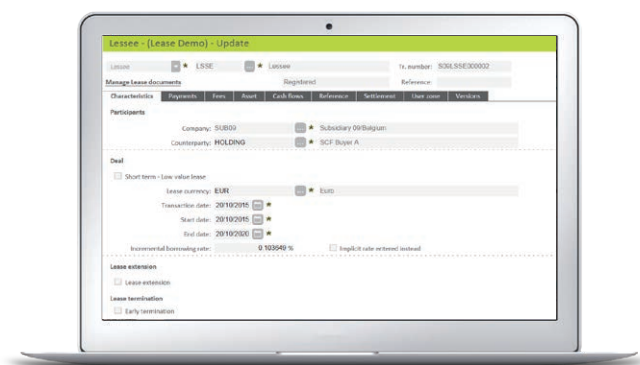
リース会計基準を円滑に遵守するため、財務部門にシームレスなワンストップ型ソリューションを提供します。

リース取引の把握

- リース資産・債務および減価償却費計算
- 保守費の分離
- 支払利息と資本コストの比較
- 総勘定元帳への仕訳記入の自動化

クラウド型 SaaS ポータル

- SOC2 Type II
- あらゆる ERP との統合
- 多言語対応
- 財務・リスク管理モジュールとの統合、または単独ソリューションとして提供



財務部門はIFRS16やASC842の適用範囲の評価を着手しましたが、自社および子会社の大量のリース取引を一括管理し、金額計算および会計処理を完了するには数か月要すると判明しています。キリバはリース会計基準の準拠を円滑に管理するため、簡単なワンストップ型ソリューションを提供します。